

第 2 回 倉 渚 地 域 審 議 会

総合計画前期実施計画事業に係る質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
学校体育施設整備事業	1	旧倉渚中央小のプールができた時は、児童数が240名程度だったと思われるが、現在は140名程度で、来年度には、20名程度減り120名程度となる。プールができた当時に比べ児童数が約半数となるが、徒歩プールを計画し、また、校庭を狭くしてまで、プールの方向を変える必要はないのではないか。	徒歩プールは、小学校1・2年生が対象で、現在は水泳の授業に必要な施設として学校の児童数によらず設けている。また、なるべくコンパクトなプールにするため、大プールのコース数を絞り、プールサイドを最小限に抑えた設計となっている。
小栗の里整備事業	1	小栗の里がどのようにつくられようとしているのか。倉渚の住民はどう関わりを持っていけるのかを、倉渚の住民はどのくらい知っているのか。知らない人がとても多いと思われる。よく知り、少しでも関わりを持てば親しみもわき、「私達の小栗の里」を大切に造っていかうという意識も育つのではないか。	小栗の里整備事業については、道の駅機能施設として道路情報発信や道路利用者の休憩施設、また、地域振興施設として、農林産物等の直売所や農家レストラン、展示施設などを備えた複合拠点施設を計画している。この施設の必要な諸室や規模については、市民参加型会議である建設懇話会等において意見交換をし、できる限りその声を反映できるように進めてきている。 施設完成後の管理・運営に関しては、指定管理者制度を活用し、地域の方が参加でき、地域にとって素晴らしい施設になるよう推進していくので、今後も皆様のご協力をいただきたい。
	2	倉渚らしいものができてほしいと願っている。そのためには、どういものができるのかを住民に対し広く伝え、住民の意識を高めることが大切だと思われる。	現在各種団体の代表者と意見交換をし、それをまとめている段階である。方向性が決まれば、地域審議会の委員をはじめ、住民に報告できるとと思われる。 倉渚地域は過疎地域であるので、地域のあちらこちらに施設を整備する訳にはいかない。まずは、倉渚支所周辺に、地域の人がある施設があつて良かったと思えるような拠点施設を整備したい。もう少し時間をいただきたい。

事業名	No.	質 疑	回 答
小栗の里整備事業	3	旧倉渚村の時代に建設を予定していた場所は、土砂災害の危険があるため、倉渚支所周辺に場所を変更して建設するという説明を受けた。しかし、倉渚支所周辺は、過去の大水害で全て流されてしまった経緯があり、一番危険な箇所である。 また、地域の人が理解できるよう丁寧な説明をお願いしたい。	色々な経緯があると思うが方向性が決まり次第説明させる。
			地域審議会の勉強会という形で説明する予定である。現在とりまとめをしている段階であり、準備ができ次第案内するので、ご参集願いたい。

報告事項に係る質疑（質疑なし）

その他の質疑

内容区分	No.	質 疑	回 答
小中学校の給食費について	1	給食費は、集金から口座振替となった。当初から口座振替だと未納者がでるのではと懸念されていたが、やはり未納者が出ているように聞いている。現在どのくらい未納者がいるのか。 また、未納者に対してどのような回収努力をしているのか。	平成22年度における市全体での給食費の未納者数は、1,095人となっている。 このような状況を踏まえ、今年度は給食費の未納対策を重点事業として取り組み、未納者への督促状の送付後、電話による勧奨や、1月中旬から1ヶ月間、教育委員会係長職による特別収納対策を実施する計画である。また、各学校給食センターにおいても、所長を中心に未納対策について強化している。 なお、平成22年度、倉渚地域の小・中学校では未納者はいない。
福島第一原子力発電所の事故による放射線等について	1	倉渚地域は県内でも空間放射線量が高いように思われる。小中学校やこども園で定期的に調査をしているのならばその調査結果を報告願いたい。 また、倉渚地域内の米の放射線物質の検査結果について、報告願いたい。	先般、群馬県と文部科学省で実施した航空機モニタリングで、榛名、倉渚の山沿いに、平野部より高い放射線量を示す地域が点在することが判明した。 本市において実施している定点測定や群馬県が実施した小中学校、幼稚園、保育所などの校園庭で実施した測定結果からも、高崎市内では、榛名、倉渚地域が若干高めの傾向を示している。 これを受け、倉渚地域の小中学校及びくらぶちこども園の校園庭を

内容区分	No.	質 疑	回 答
福島第一原子力発電所の事故による放射線等について			<p>(前頁の続き)</p> <p>支所にて測定したところ、支所と同程度の数値であることを確認している。</p> <p>今後も、適宜、測定を実施し、子どもたちの安全の確保に努めていきたいと考えている。</p> <p>また、倉渚地域の米の検査結果は、10月5日に、高崎市全域において安全性が確認され、出荷・販売・譲渡が可能となった。</p>
	2	空間放射線量の数値について、確認の意味で報告願いたい。	<p>県で県内全域の小中学校、幼稚園等を測定した結果が、新聞等で公表された。これによると、7月3日、くらぶちこども園では、地表で0.239(単位はいずれも$\mu\text{Sv/h}$)、地上50cmで0.225、地上1mで0.207、倉渚小学校では、地表で0.226、地上50cmで0.222、地上1mで0.202、倉渚中学校では、地表で0.181、地上50cmで0.169、地上1mで0.174という数値であった。</p> <p>支所で小中学校やこども園の校庭の中心付近を7月12日から週一度の測定を始め、10月20日までに15回計測した。その日によって数値は多少前後するが、単純に平均すると、くらぶちこども園では、地表で0.247、地上50cmで0.237、地上1mで0.222、倉渚小学校では、地表で0.249、地上50cmで0.236、地上1mで0.212、倉渚中学校では、地表で0.240、地上50cmで0.221、地上1mで0.199という数値だった。</p> <p>これらは平均値だが、10月20日の数値をみると、中学校では、地表で0.215ということで、平均より少ない数値となっており、7月と比べると多少数値的には低くなっていく傾向にある。また、地表、地上50cm、地上1mと高くなって行くほど数値的には低くなる状況である。</p>

内 容 区 分	No.	質 疑	回 答
福島第一原子力発電所の事故による放射線等について	3	<p>空間放射線量の計測は業者がしているのか、市がしているのか。</p> <p>農産物の生産者として、農産物の放射性物質の濃度検査をしているが、簡易検査方式だと数値にバラツキがあり正確な数値が掴めない。また、公的機関で実施している検査方式だと数値は正確だが、検査結果が出るのに5日～7日程度かかってしまう状況にある。</p> <p>安全な農産物を提供するためにも、市において、支所単位で構わないので放射性物質の濃度が計測できる精度の高い器械を備えてもらい、消費者に届く前に計測して安全であることを表示できるような体制づくりをしてもらいたい。</p>	<p>市では、空間放射線量の測定器を10器保有し、本庁、支所、学校等を計測している。簡易測定器なため数値にバラツキがあり、もっと精度の高い測定器で、測定地点についても細かくやった方が良いのではないかという議論をしている。</p> <p>また、食品の安全性の確保のため、放射性物質の濃度が計測できる測定器についても購入する方向であるが、高価なため最低限の必要数について検討しているところである。</p> <p>専門的なことを研究していくと不明確な部分があるので、今後も県と歩調を合わせ対策して行く。</p>
地域に応じた行政支援について	1	<p>住民の活動に対して、行政のバックアップが少なくなっていく傾向があるように感じる。高齢化や人口減少で、文化活動等住民の活動や行事が少なくなりつつある今、地域に応じた行政の支えを考えていただきたい。</p>	<p>第5次総合計画では、倉洲地域を自然共生ゾーンと位置づけ、清らかな水と緑、自然の恩恵を受けながら、人と人が支えあい、子どもからお年寄りまで暮らしそのものが楽しめるような、はつらつと元気に過ごせる地域を将来像としている。少子高齢化や過疎化が進みつつあるが、今後とも地域の実情に合わせた行政支援を続けて行きたい。</p>
倉洲小学校の外トイレ設置について	1	<p>以前の旧倉洲中央小学校には、校庭にトイレがあった。倉洲小学校となり人数も増え、運動会などの行事には小さい子も来るので校庭にトイレが必要と思われるが、これから設置する計画はあるか。</p>	<p>今年度建設するプールのトイレは、プール使用時はもちろんのこと、プールを使用しない期間も外トイレとして使用できるように設計されており、通年利用のできる施設となっている。</p>
農地以外の獣害対策について	1	<p>農地に対しては、ネットや電牧等の対応をしているが、最近は人家の周りにもイノシシが出没するようになった。人家に対する対応を検討しているのか。</p>	<p>今年度、倉洲第5区地域において、イノシシ等が住居地や農地に下りて来ないように、山際に柵を設置する計画がある。これが成功事例となれば続けて行きたい。</p>
ぐるりんバスについて	1	<p>昨年9月のダイヤ改正により、市街地まで2回の乗り換えが必要となり、段々と不便となっている。「以前のように、直通で市街地に行けるようにしてもらいたい」との声を聞いている。</p> <p>また、お年寄りや高校生等が利用できる時間帯に運行していただきたい。</p>	<p>市街地までの直通は、民間バス等色々な関係があるのでできない。時間帯については、ダイヤを色々と工夫をし、乗り換えは2回となるが、午前11時の高崎医療センターの受付に間に合うよう検討している。</p> <p>将来は別として、今はそれしか選択肢がないので、当面はそれでやらせていただく。</p>